astraJLPT Editorial

問題用紙

(2 0 0 7 - 1 2)

2 級

文字・語彙

(100点　35分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄(らん)に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で9ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 I　下線のことばはどう読みますか。1・2・3・4 からいちばんいいものを一つえらびなさい。

問 1　登山(1)の途中(2)、山小屋で休息(3)をとった。

(1) 登山	1	とうやま	2	とざん	3	とうざん	4	とやま
(2) 途中	1	とうちゅう	2	とっちゅう	3	とんちゅう	4	とちゅう
(3) 休息	1	きゅうけい	2	きゅうか	3	きゅうよう	4	きゅうそく

問 2　幸い(1)なことに、父の心臓(2)の手術(3)はうまくいった。

(1) 幸い	1	ゆかい	2	とくい	3	さいわい	4	あいまい
(2) 心臓	1	しんぞう	2	しんそう	3	じんぞう	4	じんそう
(3) 手術	1	しゅじゅつ	2	てしゅつ	3	しゅしゅつ	4	てじゅつ

問 3　住民は高層(1)マンションの建設(2)に反対(3)している。

(1) 高層	1	こうそ	2	こうそう	3	こうぞう	4	こうぞ
(2) 建設	1	けんとう	2	けんちく	3	けんこう	4	けんせつ
(3) 反対	1	はんだい	2	ほんだい	3	はんたい	4	ほんたい

問 4　わたしたちは、20年ぶりに故郷(1)に帰ってきた友人を暖かく(2)迎えた(3)。

(1) 故郷	1	ごきょう	2	こきょう	3	ごうきょう	4	こうきょう
(2) 暖かく	1	あたたかく	2	やわらかく	3	こまかく	4	わかく
(3) 迎えた	1	ささえた	2	むかえた	3	そろえた	4	おさえた

問 5　彼(かれ)は、年齢(1)を重ねる(2)にしたがって、性格(3)がおだやかになった。

(1) 年齢	1	ねんれい	2	ねんりょう	3	ねんりん	4	ねんれん
(2) 重ねる	1	かさねる	2	おもねる	3	まねる	4	かねる
(3) 性格	1	しょうしつ	2	しょうかく	3	せいかく	4	せいしつ

問６　まくが開くと、舞台(1)では、スピード感あふれる踊り(2)が展開(3)された。

(1) 舞台	1	まいたい	2	ぶだい	3	まいだい	4	ぶたい
(2) 踊り	1	まつり	2	まづり	3	おとり	4	おどり
(3) 展開	1	ぶんかい	2	しょうかい	3	てんかい	4	かいかい

問７　あの人は正直(1)な人で、みんなから信頼(2)されている。

(1) 正直	1	せいちょく	2	せいじき	3	しょうじき	4	しょうちょく
(2) 信頼	1	しんこう	2	しんらい	3	しんだん	4	しんよう

問題 II　次の文の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字を、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　ほうせき(1)は、みがけば(2)みがくほど、かがやきをます(3)ものだ。

(1) ほうせき　1　玉石　2　宝石　3　玉岩　4　宝岩

(2) みがけば　1　灯けば　2　照けば　3　磨けば　4　触けば

(3) ます　1　憎す　2　僧す　3　増す　4　贈す

問 2　近ごろ火事が多いので、しょうぼうしょ(1)では、きんちょうがつづいて(2)いる。

(1) しょうぼうしょ　1　消防署　2　消妨著　3　消防著　4　消妨署

(2) つづいて　1　縁いて　2　続いて　3　経いて　4　継いて

問 3　それを見た彼女は、きょうふ(1)のあまり大声でさけびながら(2)、にげて(3)いった。

(1) きょうふ　1　恐布　2　怒怖　3　怒布　4　恐怖

(2) さけびながら　1　吸びながら　2　呼びながら　3　叫びながら　4　吹びながら

(3) にげて　1　退げて　2　追げて　3　迷げて　4　逃げて

問 4　きょうし(1)は、せいと(2)のせいせき(3)だけではなく心の問題にも目を向けたほうがいい。

(1) きょうし　1　教受　2　教師　3　教授　4　教帥

(2) せいと　1　制従　2　制徒　3　生従　4　生徒

(3) せいせき　1　実積　2　成積　3　成績　4　実績

問 5　人ごみの中でむすめ(1)がいなくなり、必死でさがした(2)。

(1) むすめ　1　嫁　2　嬢　3　婦　4　娘

(2) さがした　1　捜した　2　査した　3　検した　4　測した

問6　どんよりとしたはいいろ(1)の空だから、今にも雨がふって(2)きそうだ。

(1) はいいろ　1　灰色　2　厓色　3　炭色　4　崖色

(2) ふって　1　散って　2　放って　3　降って　4　注って

問7　このほうこくしょ(1)は、わたしのこじんてき(2)な意見ではなく、皆の意見をまとめたものである。

(1) ほうこくしょ　1　伝告書　2　報告書　3　申告書　4　警告書

(2) こじんてき　1　独人的　2　単人的　3　自人的　4　個人的

問8　かべ(1)一面にさまざまな色のえのぐ(2)を使ってきょだい(3)な花をかいた。

(1) かべ　1　底　2　壁　3　奥　4　床

(2) えのぐ　1　絵の具　2　画の貝　3　画の具　4　絵の貝

(3) きょだい　1　巨大　2　過大　3　偉大　4　絶大

問題 III　＿＿＿に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)　「あのう、そちらで働きたいんですけど。」

「では、一度＿＿＿を受けに来てください。」

1　営業（えいぎょう）　2　歓迎（かんげい）　3　面接（めんせつ）　4　訪問（ほうもん）

(2)　ご宿泊ですね。では、この欄に、お名前とご住所をご＿＿＿ください。

1　記憶（きおく）　2　記入（きにゅう）　3　記念（きねん）　4　記録（きろく）

(3)　あの人の命令に＿＿＿なんて、わたしにはできない。

1　ためらう　2　うやまう　3　うらなう　4　さからう

(4)　一般に＿＿＿が高い地域では、冬の寒さがきびしい。

1　経度（けいど）　2　緯度（いど）　3　角度（かくど）　4　限度（げんど）

(5)　昨日ゼミで話し合った話題は、子どもの数が減っているという、＿＿＿「少子化」の問題だった。

1　あらゆる　2　いわゆる　3　あくる　4　さる

(6)　あの人は＿＿＿人で、買い物に行くとき、よくさいふを忘れてしまうそうだ。

1　ずうずうしい　2　ばからしい　3　そそっかしい　4　さわがしい

(7)　わたしのフランス語は、まだ日常生活で十分役に立つという＿＿＿ではありません。

1　レベル　2　パターン　3　スタイル　4　ゴール

(8)　「テスト、どうだった？」

「＿＿＿できた。」

1　さっぱり　2　ちっとも　3　あんまり　4　まあまあ

(9)　このいすは、子どもの身長に合わせて高さを＿＿＿することができます。

1　調節　2　安定　3　処理　4　共通

⑽　「これ、おいしいですね。」

「どうぞ、たくさんめしあがってください。＿＿＿。」

1　ごえんりょなく　　2　おかまいなく

3　おじゃましました　　4　かしこまりました

問題 Ⅳ　(1)から(5)は、言葉の意味や使い方を説明したものです。その説明に最もあう言葉を、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)　よくないことの程度が普通よりずっと大きい。

1　だらしない　　2　あわただしい　　3　くだらない　　4　はなはだしい

(2)　なぜそうなったのか、なぜそうなのか、理由が分からない。

1　ふしぎだ　　2　とんでもない　　3　おもいがけない　　4　すてきだ

(3)　まっすぐ立っていた物がななめになる。

1　それる　　2　かたむく　　3　かたよる　　4　ずれる

(4)　水をくんだり、掃除などのときに水をためたりするのに使う容器。

1　テント　　2　ベンチ　　3　バケツ　　4　プラン

(5)　戦いで、自分と同じ側にいる人。

1　弟子（でし）　　2　味方（みかた）　　3　知人（ちじん）　　4　同僚（どうりょう）

問題 V　(1)から(5)の言葉の使い方として最もよいものを、下の1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　気候

1　この島の気候はおだやかで、すごしやすい。

2　夜になると気候が下がります。セーターを持っていくといいでしょう。

3　この国では3月は卒業の気候だ。

4　運動会をするかどうかは、明日の気候をみて決めます。

(2)　たとえ

1　たとえ彼が参加するなら、来週のハイキングは楽しいものになるだろう。

2　たとえ春になったのに、まだ寒い。

3　たとえ一度や二度失敗しても、わたしはあきらめない。

4　たとえ病気がなおったら、みんなとスキーに出かけたい。

(3)　薄める

1　夏は暑いので、着る物を薄めます。

2　この薬品は、使うとき水で薄めます。

3　今度車を買うなら、色を薄めます。

4　ネコは、太陽の光が強いところでは目を薄めます。

(4)　甘やかす

1　コーヒーに砂糖(さとう)を入れて甘やかします。

2　その子犬は甘やかされた声で母犬をよんでいました。

3　今日会社で課長に「よくやった」と甘やかしてもらった。

4　彼は小さいころから甘やかされて育ったらしい。

(5)　いったん

1　いったんだけ言うなら、よく聞いてほしい。

2　週にいったん母に電話をします。

3　ここは今までいったんも来たことがない。

4　いったんうちに帰ってから、また来ます。

問題 VI　(1)から(5)の下線の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)　みんなに迷惑(めいわく)をかけて、本当にすまないと思っています。

1　くやしい　　2　はずかしい　　3　かなしい　　4　もうしわけない

(2)　仕事ばかりじゃなくて、たまには娯楽(ごらく)も必要だ。

1　ドラマ　　2　パーティー　　3　レジャー　　4　デート

(3)　彼は、旅行中に起きた奇妙(きみょう)な出来事をもとにして、小説を書いた。

1　すぐれた　　2　かわった　　3　あきれた　　4　おどろいた

(4)　社長は、記者会見でそのうわさを打ち消した。

1　正しくないと言った　　2　おかしくないと言った

3　聞きたくないと言った　　4　分からないと言った

(5)　バスはまもなく来るでしょう。

1　いずれ　　2　ほとんど　　3　もうすぐ　　4　やっと

astraJLPT Editorial

問題用紙

(2 0 0 7 - 1 2)

2 級

読解・文法

(200点　70分)

注　　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄(らん)に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で17ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 I　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

学習や教育についての調査研究をしていると、「自分は何のために学ぶのか」についていろいろな考え方に出会う。教育心理学者もまた、さまざまな理論を出してきた。大きく分けると、「何らかの目的のための手段として人間は学ぶのだ」という「外発的」な考え方と、「人間は学ぶことそれ自体を楽しむ存在だ」という「内発的」な考え方である。

どちらの理論も、それなりに人間性のある面をついていて、もっともらしく思える。(　①　)、どちらかで押し通そうとすると、どこか無理があって息苦しい。そこで、学ぶということは、「なりたい自己(注1)」と「なれる自己」を広げることだと考えてみるとどうだろう。「なりたい自己」というのは、社会的役割、趣味、思想などを含めた「あのようにありたい」と思う生き方である。「なれる自己」というのは、今の自分の延長として可能な選択肢(注2)である。

わたしたちは、学ぶことによって、それらの自己を広げて、その重なりあうところから何かを選んで「なっていく」。なぜ学校で学ぶのかといえば、日常生活だけでは、「なりたい自己」も「なれる自己」も狭いところで閉じられてしまうからである。学校の学習に限らず、自分が何か新しいことにトライ(注3)してみることによって、「それを楽しめる自己」を発見できたり、自分の将来の可能性を広げたりできる。

昨年、ある中学校で総合学習(注4)の発表を見た。地域でさまざまな生き方をしている人の様子を見学し、ポスターにまとめ、教室や廊下を使って報告しあうものだった。その中で、私がたまたま聞いたのは、子どものために絵本を作り、読み聞かせをしているボランティア(注5)の方に取材(注6)した女子中学生だった。

彼女の丁寧な発表から、いかに多くのことを学びとり、その方に尊敬の念を抱いているかが見て取れた。しかし、私が驚いた②のは、「君もあの人のようになってみたいと思うの」と聞いたときの答えである。

「いえ、まだ、すぐには決めません。一人の方に取材してみて、これだけいい経験ができたので、他の人からもいろいろ聞いてみたいからです」

果(注7)てしなく広がっていく(　③　)を見た思いがした。

(市川伸一「自分の可能性広げる糧に」『学びの時評』読売新聞2006年3月13日付朝刊による)

(注1)　自己：自分

(注2)　選択肢：何かを決めるときに、選ぶことのできるいくつかの手段

（注3） トライしてみる：実際にやってみる

（注4） 総合学習：いくつかの科目で得た知識をまとめて、調査や発表をする授業（じゅぎょう）

（注5） ボランティア：人や社会のために、お金をもらわずに働くこと。またはその人

（注6） 取材：記事を書くために情報を得ること

（注7） 果（は）てしなく：限りなく

問1 （ ① ）に入る最も適当な言葉はどれか。

1 すると　　2 だから　　3 しかし　　4 つまり

問2 筆者によると、学ぶとはどういうものか。

1 なりたい自分になるのに必要な知識を、日常生活の中で得ること

2 学ぶ目的を理解し、学校生活や日常生活を楽しめるようにすること

3 人生の目標を見つけるために、今の自分ができることに集中すること

4 自分がしたいこととできることを増やして、将来の選択肢（せんたくし）を多くすること

問3 「なりたい自己（じこ）」「なれる自己」が広がるとはどういうことか。考えられる例として最も適当なものはどれか。

1 りっぱな仕事に就いて、みんなに尊敬される人になる

2 将来、してみたいことや、できそうな職業の種類が増える。

3 行動範囲が広くなり、自分を的確に表現する力も伸びる。

4 ボランティアの方に取材ができる丁寧（ていねい）な態度が身につく。

問4 筆者は学校をどのような場所だと考えているか。

1 新しいことにトライできる、唯一の場所

2 日常生活と変わらない、狭く閉じられた場所

3 決められたことしかできない、制限が多い場所

4 日常生活ではできない、さまざまなことが経験できる場所

問5　筆者は女子学生の発表を聞いて、彼女がボランティアの人に対してどのように思っていると感じたか。

1　このボランティアの人からは、あまり多くのことは学べなかった。

2　このボランティアの人は、りっぱな活動をしているすばらしい人だ。

3　このボランティアの人は自分の理想の人なので、ぜひそうなりたい。

4　このボランティアの人を尊敬はできるが、同じような活動はしたくない。

問6　②「驚いた」とあるが、筆者はなぜ驚いたのか。考えられる理由として最も適当なものはどれか。

1　筆者は、この女子学生が若いのに、取材したボランティア活動をしっかり理解していると感じたから。

2　筆者は、この女子学生が内容のよい丁寧（ていねい）な取材をしたのに、自分の取材に満足していないと感じたから。

3　筆者は、この女子学生がすでにたくさんのことを学んだのに、もっと学びたいと思っていると感じたから。

4　筆者は、この女子学生がボランティアは大変な活動だとわかったのに、自分もやりたいと考えていると感じたから。

問7　（　③　）に入る最も適切な表現はどれか。

1　尊敬の念　　2　学びの姿　　3　丁寧（ていねい）な発表　　4　ボランティア活動

問題 II　次の(1)から(3)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1) 他人に注意するのが好きな人がいる。切符売り場などで、人々が列を作って並んでいるのに割り込む人(注1)に、「みんな、順番で待っているよ」などと注意する。内心、何か言いたい、と思っていた他の人々は、「代わりに言ってくれてよかった」と、ほっとする(注2)。注意されたほうは、文句を言いつつも、列の後ろに並ぶ。

科学は、他人に注意するという人間の行動に、「利他行動」という視点(注3)からアプローチする(注4)。

必ずしも自分の得にならない、むしろ損になるかもしれないのに、他人の利益のために敢えてする(注5)、というのが利他行動である。たとえば、自分が狩った獲物(注6)を他人にも分け与えるという行動もそうだ。

なぜ、注意する行動が利他する行動になるだろうか。注意された相手は、その後、ルール(注7)を守ってきちんとした行動を取るようになるかもしれない。そうなれば、結果、その人と接する人々は、得をすることになる。自らは何の行動も取っていないのだから、「ゼロのコスト(注8)」で、そのような利益を得たことになる。

注意をする人も、そのことで得することもあるかもしれない。一方で、行動することにはエネルギーが必要であり、喧嘩になったり、不快な思いをしたりするリスク(注9)もある。自らがそのような不利益を被り(注10)つつ、他者には無償(注11)の利益を与えるという意味で、「注意すること」は利他行動なのである。

(茂木健一郎『脳の中の人生』による)

(注1) 割り込む：順番を守らずに間に入る

(注2) ほっとする：安心する、心が落ち着く

(注3) 視点：物事を考えるときの見方

(注4) アプローチする：(研究対象に)迫る

(注5) 敢えてする：困難な状況であってもためらわずに行動する

(注6) 狩った獲物：食物として捕らえた動物

(注7) ルール：規則

(注8) コスト：費用

(注9) リスク：危険性

(注10) 被る：受ける

（注11）無償：自分のしたことに対してお礼のお金などをもらわないこと

問1　「内心、何か言いたい」とあるが、だれにどんなことを言いたいのか。

1　注意した人にありがとうとお礼を言いたい。
2　割り込んで来る人に静かにするように文句を言いたい。
3　注意した人に自分も注意するつもりだったと言いたい。
4　割り込んで来る人に列に入ってきちんと並ぶように言いたい。

問2　ここでの「利他行動」とは、何か。

1　自分には損になる可能性があっても、他人のためにする行動
2　自分自身も豊かな気分になれるように他人のためにする行動
3　他者の利益は結局自分の利益になると考えて、他人のためにする行動
4　自分が損をする可能性に気付かず、他人のことだけを考えてする行動

問3　「注意すること」の「不利益」として考えられることは何か。

1　注意する人もされる人も不愉快な思いをすること
2　注意することで周りの人が不愉快な思いをすること
3　注意する人が注意することで不愉快な思いをすること
4　注意することで注意された人が不愉快な思いをすること

（2）ある日、知人と喫茶店で話していたとき、おもしろい話を聞いた。知人は大学時代に交換留学の機会を得て9ヶ月間アメリカの大学に留学したそうだが、その留学を終えて帰国するとき、心に残る思い出ができたと言う。以下、その知人の話である。

アメリカに行くときは飛行機だったが、帰りは船に乗ってみたくて、貨客船で帰ることにした。貨客船は基本的に貨物船であるが、乗客も11人まで乗せることのできる船だった。その貨客船に乗ってアメリカ西海岸の港を出て横浜に向かった。

飛行機なら到着時とかに時計を一度だけ調節(注1)するのが普通であるが、船旅では、おもしろいことに、港を出てから横浜に着くまで毎日寝る前に1時間時計を遅らせるように船員に言われた。言ってみれば、1日が25時間になったわけである。ところが、日付変更線を越えるときに、日付を1日先に進めることになった。（　　）、1日失われたのである。

ところで、その船には小学校の教師を定年退職(注2)し息子さんと一緒に日本へ旅行に行くシンクラーさんという女性が乗っていた。そして、そのシンクラーさんの誕生日がたまたま日付変更線を越えるときに失われた1日だったのである。これを知った船長が、それはあまりにもかわいそうだということで、シンクラーさんのためにパーティーをひらくことにして、みんなでシンクラーさんを励ま(注3)した。おかげでみんな特別なパーティーを楽しむことができてなかなか経験できない船の旅となった。

私は、この知人の話を聞いて、このような船旅も悪くないなと思った。今は仕事で忙しく時間の余裕がないが、私もいつか船旅をしてみたくなった。

(注1) 横浜: 日本の有名な港町

(注2) 定年退職: 企業などが決めた年齢になって仕事を辞めること

(注3) 励ます: 元気が出るように力づける

問1 (　　) に入る最も適当な言葉はどれか。

1　ただし　　2　ついに　　3　けれど　　4　つまり

問2 本文の内容に合っているのはどれか。

1　シンクラーさんは、乗船していた人たちに誕生日を祝ってもらった。

2　シンクラーさんの息子さんは悲しんでいる母のためにパーティーを開いた。

3　日付変更線のところで1日多くなり、乗客たちは余計に楽しい思いができた。

4　船長は、日付変更線に着くまで毎日時計を1時間遅らせなければならなかった。

問3 この本文に題をつけるなら、どれが一番合っているか。

1　貨客船と時間　　2　失われた誕生日

3　交換留学先での思い出　　4　定年退職のパーティー

（3）次の文章は、ある園芸雑誌に載った読者からの質問と専門家の回答です。

≪質問≫

先日、花屋に「育てやすいですよ。」と言われた花を買いました。言われたとおり日光がよく当たる場所に植えたのですが、枯れてしまいました。土には栄養を十分に与えました。水も毎日決まった時間にたっぷりやっていました。いったい、何がいけなかったのでしょうか。

≪回答≫

このかたは、日光、土の栄養、水と三つの要素をよく考えていらっしゃいますね。植物は生命活動の養分を日光の助けを借りて作り出しているので、日に当てることは大切です。でも、それだけでは植物は十分に成長しません。土の栄養が不足すると、葉が小さくなったり美しくなくなったりしますから、栄養にも注意しなければなりません。もちろん水も重要で、水がなければ植物は枯れてしまいます。しかし、実は「あればあるほどいい」というものではないのです。

毎日決まった時間に水をたっぷりやっていらっしゃったようですが、飲み過ぎがよくないのは人間や動物と同じです。一日一回時間も量も決めて水をやるのは規則正しいやりかたで、水をやっている人はそれで心が満たされるでしょう。けれども水を必要としているのは人間ではなく、植物のほうです。植物は、成長が止まる時期には、それほど水分を吸わなくなります。また、天候や土の種類によって土の乾き方が違いますから、どのぐらいの水を与えればよいかはその日によって異なります。こうした点によく注意して、水をやるようにしてみてください。

(注)　心が満たされる：満足する

問1　回答者は植物を育てるには基本的に何が大切だと考えているか。

1　「日光」と「土の栄養」と「水」が大切だと考えている。

2　植物を枯れさせないための「水」が何よりも大切だと考えている。

3　生命活動の養分を作りだすための「日光」が一番大切だと考えている。

4　植物を十分に成長させるための「土の栄養」が最も大切だと考えている。

問2　水のやり方について回答者はどのように考えているか。

1　植物も人間の場合と同じように、規則正しく水をやることは必要である。

2　規則正しく水をやることは、人間の心を満たすことにもなり、重要である。

3　規則正しさよりも、成長や土の状態を考えて水をやることのほうが大切である。

4　植物の成長期には水を多くやってはいけないので、規則正しくやる必要はない。

問3　回答者は、なぜ花が枯れたと考えているか。最も適当なものはどれか。

1　水をやりすぎたから
2　日光に当てすぎたから
3　土に栄養を与え過ぎたから
4　土に栄養を与えずに日光に頼りすぎたから

問題 Ⅲ　次の(1)から(5)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1) 昔、テレビで対談(注1)をやったとき、「テレビが盛(さか)んになって、子どもが勉強しなくなったと親から非難(注2)されるが、社長はどう思うか」と聞かれたことがある。それで私は「子どもの教育は学校だけのものではない。テレビはいろいろな社会情勢(注3)を知らせ、みんなの考え方を多面的に知るにはなかなか大きな役割(注4)を果たしている。勉強というものを、そう小さな枠(わく)(注5)にはめて考えないでほしい」と答えておいた。

子どもの個性や能力といったものも、日常生活の中に生き生きと表われている。

(PHP研究所編『本田宗一郎「一日一話」―“独創(どくそう)”に賭(か)ける男の哲学(てつがく)』による)

(注1) 対談：二人の人がある決まったテーマについて話し合うこと

(注2) 非難：欠点などを取り上げて、悪く言うこと

(注3) 社会情勢：変化していく社会のようす

(注4) 役割を果たす：働きをする

(注5) 枠にはめる：ある一定の範囲(はんい)に限る

【問い】　本文の内容に合っているものはどれか。

1　子どもの教育は、テレビという小さな枠にはめて考えるべきではない。

2　テレビからの情報は重要なので、学校でも積極的に取り入れるべきである。

3　子どもの勉強は学校だけでするものではなく、あらゆる経験が勉強である。

4　子どもの個性や能力は日常生活で伸びるので、学校での教育は必要ではない。

（2）昨夜、寝られなかったという方、心配いりません。寝られなくてもいいんです。人間というものは、寝よう寝ようと思えば思うほど目が冴(さ)えてしまうようにできています。ですから、眠れればよし(注1)、寝られなくてもいい、どっちでもいいと思うようにしてください。なかなか眠りにつけないとき(注2)は、積極的に〈寝られなくてよかった。寝られなかったからこそ、読書ができた〉、〈目が冴えて、友達への手紙が書けた〉というふうに考えてください。そうしたプラス思考(注3)の考え方が、寝るということにつながるのではないかと思っています。

（早川一光『老い方練習帳(ちょう)』による）

（注1） 目が冴える：頭や目などの働きが活発になる

（注2） よし：いい、問題はない

（注3） プラス思考：物事をよい方向に考えること

【問い】 筆者によると、どうしても寝られないとき、どうすればいいか。

1 寝ようと思えば必ず寝られると考えて、眠くなるのを待つ。

2 寝られないことは問題であるので、積極的に寝るように努力する。

3 自然に眠くなるように読書したり手紙を書いたりして目を疲れさせる。

4 気にしないで、寝られないことでいいこともあるのだと考えるようにする。

（3）日本には世界平均の約2倍近い雨が降っている。ところが、国の面積が小さく人口が多いため、国民一人当たりの雨の量は世界平均の4分の1程度しかない。

実際たくさんの雨が降っても、日本には流れが急な川が多いので、その雨水はすぐに海へ流れ出てしまう。また、雨は梅雨や台風の季節などに集中して降り、それ以外の時期はあまり降らないし、雨の量は地域によってもかなり差がある。

このように考えると、（　　）。日本人は水をもっと大切な資源として使っていくべきなのではないだろうか。

【問い】　（　　）にはどんな文が入るか。

1　日本は決して水が豊かにある国だとは言えない
2　日本は年間を通じて降る雨の量が多い国だと言える
3　日本は川などが多いので、水に恵まれていない国だとは言えない
4　日本は地域による違いがあるが、全般的に雨の少ない国だと言える

（4）日本の職場では最近、暑い夏にノーネクタイ、ノー上着で過ごそうという動きが見られる。これは環境のことを考えて、服装で体感温度(注1)を調節し、冷房に使う電気の量を減らすのが目的である。寒がりで冷房(注2)に悩まされてきた人たちにとっては、いい知らせだと言えるだろう。

ところが、これでその人たちみんなが喜べるというわけでもないのだ。例えば、放送局の中を考えてみよう。放送に使われる機械は暑さに弱いものが多いため、冷房が必要となる。機械のためには、どんなに寒くても人間のほうが我慢するしかないのである。

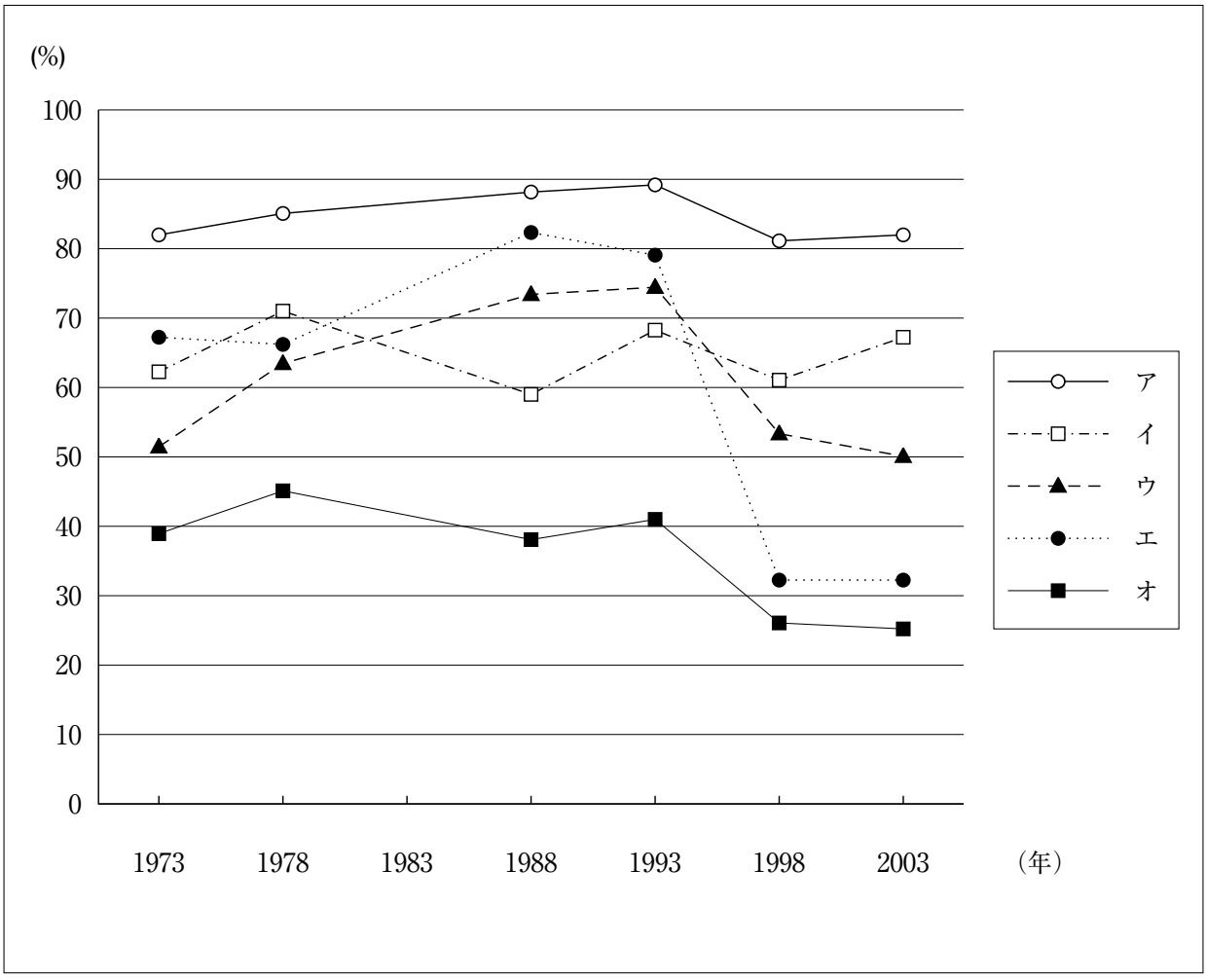
（注1）ノーネクタイ：ネクタイをしないこと
（注2）体感温度：体で感じる温度

【問い】　本文の内容と合っているものはどれか。

1　環境のことを考えて、放送局で働く人たちは電気の使用量を減らさなければならない。
2　冷房が強いと壊れる機械のことを考えて、放送局の人は暑さを我慢しなければならない。
3　環境を守るために、寒さに弱い人たちは服装で温度を調節して過ごさなければならない。
4　機械を守るために、放送局では冷房をつけて寒さを我慢しながら過ごさなければならない。

（5）ある研究所は、20歳以上の日本人男女を対象に、1973年から定期的に日本の現状評価についての質問調査を行っている。右のグラフは、そのうちの「芸術」「経済力」「生活水準」「心の豊かさ」「科学技術の水準」の5つの項目について、＜非常によい＞と＜ややよい＞を合わせた選択率の変化を示したものである。

それによると、「科学技術の水準」は1973年の調査開始時から徐々に伸びた後いったん下降しているが、最近またわずかに回復傾向が見られる。「芸術」はおよそ10％の幅で上がったり下がったりを繰り返し、2003年に評価が上がったものの、今後も評価が伸びるかどうかはわからない。一方「経済力」は1988年を最高に、それ以降評価は下がり、2003年の調査でも回復は見られない。また「生活水準」は調査開始から毎回評価は伸びていたが、1993年を境に下がり、その後も下降の傾向にある。「心の豊かさ」は毎回低い評価を受けていたが、1993年以降さらに低くなり、「生活水準」と同様、その後も低いままである。日本の現状評価は、1998年以降多少上向きの傾向が見られる項目はあるが、全体的に下がっているということがこの調査からわかった。



（グラフは坂本慶行「日本人の国民性50年の軌跡―『日本人の国民性調査』から―」『統計数理』第53巻第1号による）

問1　文章の内容とグラフが合う組み合わせはどれか。

1　ア：科学技術の水準　イ：芸術　ウ：生活水準　エ：経済力　オ：心の豊かさ

2　ア：科学技術の水準　イ：心の豊かさ　ウ：生活水準　エ：芸術　オ：経済力

3　ア：生活水準　イ：芸術　ウ：科学技術の水準　エ：心の豊かさ　オ：経済力

4　ア：生活水準　イ：経済力　ウ：科学技術の水準　エ：芸術　オ：心の豊かさ

問題 Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　多くの観光客が訪れる＿＿＿、確かに山からの眺めはすばらしかった。

1　以上　　2　反面　　3　ことなら　　4　だけあって

(2)　展覧会（てんらんかい）に＿＿＿近くの公園をぶらぶら散歩してきた。

1　行くからには　　2　行くうちに　　3　行ったついでに　　4　行った上は

(3)　一度ぐらい断られた＿＿＿、そんなに簡単にあきらめないでください。

1　ものの　　2　わりに　　3　からといって　　4　のみではなく

(4)　彼女の笑顔は太陽＿＿＿明るくかがやいている。

1　気味に　　2　っぽい　　3　みたい　　4　のように

(5)　全力を出しましたが、残念＿＿＿、優勝できませんでした。

1　だけに　　2　ながら　　3　どころか　　4　かと思うと

(6)　好きか嫌いかに＿＿＿、この仕事は必ずしなければならない。

1　つけ　　2　つれ　　3　よれば　　4　かかわらず

(7)　値段は別として、味の良さ＿＿＿このレストランが一番だ。

1　にかけては　　2　にしては　　3　をこめては　　4　をぬきにしては

(8)　契約＿＿＿必要な書類をお知らせください。

1　に際して　　2　に向かって　　3　のもとに　　4　をはじめ

(9)　会議の開始に＿＿＿、新しいメンバーが紹介された。

1　くらべて　　2　こたえて　　3　さきだって　　4　そって

(10)　大学で日本文学史に＿＿＿研究したいと思っています。

1　ついて　　2　たいして　　3　わたって　　4　ともなって

(11)　風で紙が飛んでしまうので、本＿＿＿重いものを載せておこう。

1　か何か　　2　かどうか　　3　としても　　4　といったら

(12)　約束の日までに製品(せいひん)が完成しない＿＿＿、わが社の信用がなくなってしまう。

1　ように　　2　としたら　　3　につけても　　4　わけがなく

(13)　この程度の練習で文句を＿＿＿次の試合に勝てないぞ。

1　言うようでは　　2　言うかのようで　　3　言いようもなく　　4　言うことのないように

(14)　事実を確認＿＿＿、何とも申し上げられません。

1　しつつ　　2　した際に　　3　して初めて　　4　しないことには

(15)　その政治家がスピーチで言った一言＿＿＿、さまざまな議論がわき起こっている。

1　にあたって　　2　に加えて　　3　をめぐって　　4　をかねて

(16)　お忙しいところ申し訳ありませんが、何とか＿＿＿ませんでしょうか。

1　お引き受け願い　　2　お引き受け願え　　3　ご引き受け願い　　4　ご引き受け願え

(17)　今回改正された法律は、ほとんどの国民＿＿＿あまり役に立たない。

1　と言えば　　2　にとって　　3　は問わず　　4　を通して

(18)　高速道路は今のところ渋滞(じゅうたい)していないから、この調子＿＿＿、あと30分で目的地に着くだろう。

1　こそ　　2　だと　　3　とともに　　4　なんて

(19)　壁の時計が斜めになっていたので＿＿＿、かえって曲がってしまった。

1　掛(か)け直すと同時に　　2　掛け直すのに応じて

3　掛け直したら　　4　掛け直しつつ

(20)　息子は小学生のころ、よくお腹が痛い＿＿＿学校を休んでいた。

1　のに　　2　のなら　　3　というより　　4　といっては

問題 V　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　私たちが優勝できたのは、応援(おうえん)してくれたみんな＿＿＿。

1　次第です　　2　がきっかけです　3　のせいです　　4　のおかげです

(2)　公園の整備を求める住民と役所との話し合いは、10年の長期＿＿＿。

1　を通じた　　2　に限った　　3　にわたった　　4　にすぎなかった

(3)　家賃は1か月5万円だから、1年で60万円も＿＿＿。

1　払うことになる　2　払うことにする　3　払いかねない　　4　払いかねる

(4)　スポーツが苦手だといっても、スポーツ番組を見るのが嫌(きら)いだという＿＿＿。

1　までもない　　2　わけではない　　3　にちがいない　　4　どころではない

(5)　学生時代、奨学金がもらえてどれほど助かった＿＿＿。

1　ことか　　2　のみか　　3　はずだ　　4　ものだ

(6)　故障(こしょう)した機械を直してくれと頼まれたが、部品がなくては修理＿＿＿。

1　してならない　　2　しようがない　　3　するにかたくない 4　するに相違ない

(7)　ボーナスが出るかどうかは、この夏の売り上げ状況に＿＿＿。

1　こたえる　　2　あたる　　3　限る　　4　よる

(8)　こんなに長い小説は、1日では＿＿＿。

1　読みかける　　2　読みつづける　　3　読みきれない　　4　読みだせない

(9)　お酒の好きな田中さんが来るんだから、これだけで足りる＿＿＿。

1　わけがある　　2　わけがない　　3　おそれがない　　4　おそれがある

(10)　お客様、こちらの料理はしょうゆなど何もつけずに、どうぞそのまま＿＿＿

1　おめしあがってください　　2　おめしあがりください

3　めしあがりなさってください　　4　めしあがらせてください

問題 VI　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　数週間の入院生活で、健康(けんこう)の大切さを実感した。＿＿＿、もっと健康に気をつけて生活しようと決心した。

1　これも構わず　　2　これを契機に

3　それはさておき　　4　それだからといって

(2)　記者「ところで、社員に望むことは何でしょうか。」

社長「そうですね。経営者の立場＿＿＿、なんでも率直に言ってほしいです。」

1　からいうと　　2　にもとづいて　　3　だけあり　　4　につき

(3)　現代の若者は、子どもの時からテレビやインターネットなどでさまざまな情報に接(せっ)する機会が多い。その反面、＿＿＿。

1　親は子どもの世話をテレビに任せている

2　子どもの数が減っていることが心配されている

3　実物を見たり触ったりする体験が不足している

4　実際の体験を重視した教育プログラムを作るべきだ

(4)　私が歌が上手ですって？ ＿＿＿。あなたのほうがずっと上手ですよね。

1　上手なはずです　　2　上手なわけです

3　上手なことですか　　4　上手なもんですか

(5)　留学は今すぐではなく、大学を卒業してからにします。両親にしても、＿＿＿。

1　留学したくないでしょう　　2　就職してほしいでしょう

3　そのほうが安心でしょう　　4　私に反対でしょう